# 平成 28 年度地域活性化検討専門部会 取り組み(中間報告)について

#### 検討事項

- (1) 今年度の取り組みについて
  - ・各取り組みの実施内容等の確認
  - ・各取り組みの評価と今後の進め方
- (2) 来年度の取り組みについて
  - ・取り組み事項の検討
- (3) その他

### 地-1 サインの検討・試行、地-2 散策マップの検討・試行

		<del>加西</del>
概要・目的		概要 今年度もサトヤマアートサンポと連携して、アートを案内する暫定マップ・サインを作成し、散策誘導を試行的に実施 〈サイン〉 ・散策等の適切な誘導、地域の紹介、マナーアップなども含めたサインの検討・試行の取り組み 〈マップ〉 ・地区内の散策マップや散策ルート等のあり方を検討 目的 【散策環境の向上】来訪者が快適に散策できたり、目的地へ円滑にたどりつける環境を確保すること 【マナーアップ】ゴミのポイ捨てや農地の無断立ち入りなど注意喚起をして、来訪者のマナー向上を促すこと 【地場材の活用】黒川地域の竹や樹木などの利活用を促す。 【情報発信の推進】農と環境のまちづくりの P R や各種取り組み(里山アート等)の認知促進
		主 催: 和光大学(制 作: 和光大学)協 力: 地元農業者、小田急電鉄、セレサモス、黒川営農団地管理組合(農業用倉庫) 事務局: 麻生区役所対象者: 黒川地域の来訪者
	実施予定日	平成 28 年 11 月~12 月頃 ※収穫祭(11/12)前後
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場への誘導 <黒川駅〜セレサモス〜農業用倉庫〜広町緑地〜明治大学黒川農場>
	周知・PR	散策マップの配布、ポスターの掲示
実施内容	内容	〈サイン〉 ①総合案内サイン:黒川駅から明治大学黒川農場までの全体マップ ②位置サイン:里山アートの紹介サイン ③誘導サイン:散策ルートの誘導のためのサイン 〈マップ〉 今年度は、まだ、黒川地域での推奨する散策ルート等の検討を行っていないため、設置する期間を限定し、里山アートの設置場所の紹介をするための暫定版の散策マップを配布する。
	予算等	サイン制作費、散策マップ制作費、印刷費
その他		ルートについては、地元の意見や情報を反映したものとする。

	実施日時	平成 28 年 11 月 12 日 (土) ~11 月 20 日 (日)	
実	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場への誘導	
実施概要	大心场门	<黒川駅〜セレサモス〜農業用倉庫〜広町緑地〜明治大学黒川農場>	
要	参加者数	アート鑑賞者:約1000名(参考:収穫祭来場来場者 1761名、パンフレット配布数等より推測)	
		①総合案内(黒川駅前) ②里山アート作品の紹介	
		DESCRIPTION OF THE PARTY OF THE	
		③誘導サイン(黒川駅前〜明治大学黒川農場周辺)	
	実施状況 (写真等)	麻生店 「「「「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」	
		<ul> <li>(4) 散策ルートマップ (2000 部)</li> </ul>	
	催者や参加者の声 な意見、感想)	・ルートマップについては、アンケートで全員がわかりやすいと回答	
等	画と今後の進め方 (専門部会での検 事項)		
₹0	<b>D他</b>	_	

### 地-3 里山景観づくりの検討・試行

概要・目的		概要 ・黒川地域の景観向上や来訪者を楽しませるため、緑地や農地の「里山の景観づくり」の検討を行う。 目的 【散策環境の向上】来訪者が黒川の自然を楽しみながら散策できる景観を形成する。 【認知促進】里山環境に適した景観を創出することで、黒川の新たな魅力として PR し、都市の中で貴重な環境が残っている現状を多くの人に伝える。
実施体制、対象者等		協 力:地元農業者等 対象者:黒川地域の来訪者
	実施予定日	種まき: 平成 28 年 10 月頃(春に開花の場合) 開 花: 平成 29 年 3 月〜4 月頃
	実施場所	黒川海道特別緑地保全地区、ほか黒川地域
	周知・PR	_
実施内容	内容	検討事項 ① 種まき 里山の風景と調和した花の景観を形成するため、散策路沿いおよび賛同を得られた農地沿いに菜の花や蓮華等の種まきを行う。 →種の種類、敷地所有者の賛同、ルート等 ② 開花期 景観づくりの目的や取り組みを紹介するサインを設置する。 →広報方法、管理方法 ③ その他、景観づくりについて検討
	予算等	
その他		

### 地-4 HP等による取り組み紹介とイベントPR

概要・目的		<ul> <li>・農と環境のまちづくりの取り組みを積極的にPRするため、コンテンツやPR媒体の充実</li> <li>・ホームページの更新充実、収穫祭時での紹介パネルの作成、各種取り組みでのアンケートを実施</li> <li>「即り組みのPR・情報発信】</li> <li>「農と環境を活かしたまちづくり」に関連した取り組みのPRや明治大学・川崎市黒川地域連携協議会、各専門部会の審議内容などの情報を発信し、市民に周知する。</li> <li>【担い手づくり】</li> <li>「農と環境を活かしたまちづくり」の取り組みやイベント等の参加募集、実施後の活動報告などを行い、取り組みに賛同し、活動に協力してくれる担い手づくりにつなげる。</li> </ul>
実施体制、対象者等		担当:麻生区役所 対象者:ホームページ閲覧者、収穫祭来場者
	実施予定日	収穫祭でのパネル展示・アンケート: 平成 28 年 11 月 12 日(土) ホームページ: 随時更新
	実施場所	パネル展示・アンケート:明治大学黒川農場
	周知・PR	麻生区ホームページ(インターネット)
実施内容	内容	<ul> <li>①取り組みの紹介とPR</li> <li>「農と環境を活かしたまちづくり」に関連した取り組みのPRや明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会、各専門部会の審議内容などの情報を発信し、市民に周知する。</li> <li>②イベントの参加募集と活動報告 「農と環境を活かしたまちづくり」に関連したイベント等の参加募集、実施後の活動報告などを行う。</li> <li>③イベントアンケート調査来場者に向け、農産物等研究専門部会と環境を活かしたまちづくりに関するアンケート調査を行う</li> </ul>
	予算等	アンケート印刷費、パネル印刷費、アンケート回答者へのノベルティ代
	その他	_

実	実施日時	収穫祭でのパネル展示・アンケート:平成 28 年 11 月 12 日(土) ホームページ:随時更新
実施概要	実施場所	パネル展示・アンケート:明治大学黒川農場
安	参加者数	収穫祭アンケート 149 件 (昨年100件)
	実施状況(写真等)	・収穫祭におけるパネル展示、アンケートを行った。  ・黒川の風景を用いたノベルティ グッスを作成し、アンケート謝 礼として配布した。 ・麻生区ホームページにおいて「農と環境を活かしたまちづくり」として情報を発信した。
	催者や参加者の声 な意見、感想)	<ul><li>・竹あんどんについては、約7割がやってみたい、興味があると回答</li><li>・美術展示については、約8割が鑑賞してみたい、興味があると回答、取り組みについてのニーズが確認できた。</li></ul>
等	画と今後の進め方 (専門部会での検 事項)	・今年度は時間を決めずにアンケートを集めたが、目標の回答数を集め ることができた。
₹0	D他	-

# 地-5-1 <グリーンツーリズム>トマト&ブルーベリー収穫体験の実施

概要・目的		概要
実施体制、対象者等		主催:麻生区役所協力:明治大学黒川農場、セレサモス、川崎市農業振興センター農地課対象者:川崎市在住・在学の20~30代の男女(モニターとして、当日及び後日送付のアンケートにご回答いただける方)
	実施予定日	平成 28 年 7 月 30 日(土) 9:50~13:00 黒川駅南口集合
	実施場所	・ブルーベリー収穫体験:川崎市援農ボランティア実習用ブルーベリー畑 ・トマトの収穫体験&農場見学:明治大学黒川農場 ・アンケート調査&意見交換等:明治大学黒川農場
実施	周知・PR	・麻生区ホームページ内での告知 ・タウンニュース掲載 ・チラシの配布(区役所・小田急各駅、食品衛生協会による各店舗配布、 地域情報誌、新聞、SNSによる発信、など)
内容	内容	<ul><li>①収穫体験</li><li>・ブルーベリーの収穫</li><li>・トマト・ナス・ピーマンの収穫</li><li>② 明治大学黒川農場の見学</li><li>③ アンケート調査と意見交換</li><li>・農に対するニーズなどの意見をいただき、今後の取り組みの参考にする。</li></ul>
	予算等	参加費無料、運営費(袋、パック等)
その他		_

	実施日時	平成 28 年 7 月 30 日(土) 10:00~13:00
実施概要	実施場所	・ブルーベリー収穫体験:川崎市が借りているブルーベリー畑 ・トマトの収穫体験&農場見学:明治大学黒川農場 ・アンケート調査&意見交換等:明治大学黒川農場
	参加者数	20 名(申込:33 名、欠席連絡有 11 名、連絡なし 2 名)
	実施状況(写真等)	9:50 黒川駅南口  10:20 ブルーベリー畑  11:00 明治大学黒川農場到着 ・農場見学 ・トマトの収穫体験 ・アンケートの記入 ・意見交換  13:00 セレサモスにて解散
	<b>催者や参加者の声</b> な意見、感想)	・食べながら好みの味のものが収穫できてよかった。 ・久しぶりに土に触れることができ、いい機会だった。 ・黒川の農業を知る機会になった。今後、地産地消を意識していきたい。 ・農場見学が興味深く、楽しかった。 ・参加者同士の自己紹介や交流の時間があったらよかった。
等	画と今後の進め方 (専門部会での検 事項)	
₹0	D他	-

# 地-5-2 〈グリーンツーリズム〉ジャガイモの収穫体験(案)

#### 計画(案)

概要・目的		概要 ・区民を対象に、ジャガイモの植え付けから収穫・調理までを通して体験し、農への興味・関心を深める。 目的 【農体験のPR】黒川産の野菜や果物のPR。収穫だけでなく、植え付けの段階から調理までの活動することで、参加者に農業を楽しみ、興味関心を深めてもらい、黒川や農業を身近に感じてもらうきっかけとする。
実施体制、対象者等		主催: 麻生区役所 協力: 黒川地域、セレサモス 対象者: 麻生区民(主なターゲット層未定)
	実施予定日(例)	植 付: 平成 29 年 3 月 芽かき: 平成 29 年 4 月後半 草取り: 平成 29 年 5 月 収穫・調理: 平成 29 年 6~7 月
	実施場所	黒川地域の農地(未定)
4	周知・PR	<ul><li>・麻生区ホームページ内での告知</li><li>・チラシの配布</li></ul>
実施内容	内容	①植付体験 ・じゃがいもの育て方の講習会 ・植付 ②わき芽かき体験 ・芽かき作業の説明と実施 ・追肥の実施 ③草取り作業 ・畑の囲い込み(支柱たて)、雑草等の草取り ④ 収穫体験 ・じゃがいもの収穫体験 ・調理・試食
	予算等	参加費:500 円程度
その他		<課題> ・作付け場所、講師の確保 ・類似の既存イベントとの差別化、目的・目指す効果の明確化

## 地-6 炭焼き体験・シンポジウム

概要・目的		概要 ・炭の今後の活用の可能性等をテーマとしたシンポジウムを、農家・大学・ NPO 等と連携によって実施。 目的 【竹林管理と活用】家庭菜園などにも土壌改良材として利用できる竹炭に する事例を実際に見聞きし、竹林を活用しながら適正な 管理を実践する仕組みづくりについて、学ぶ機会とする。
実施体制、対象者等		主催:明治大学、麻生区役所、NPO 法人 K-BETS NPO 法人竹もりの里協力:地元農業者、対象:地元農業者、地元住民等
	実施予定日	平成 28 年 9 月 14 日(水)13:00~16:00(10:00~見学可)
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	チラシ、ポスター等
実施内容	内容	①竹炭製造のデモンストレーション ・炭化炉を使って、実際に竹炭をつくる ②シンポジウム ・基調講演「竹炭の農業利用」明治大学特任教授藤原氏 ・事例発表①麻生区における里山管理の現状と課題 ・事例発表②千葉県における竹炭づくりの取り組み ・事例発表③竹炭の土壌改良効果 ・事例発表④家庭で竹炭を使った有機野菜・花づくり
	予算等	チラシ・パンフレット印刷費
その他		<課題> ・竹炭製造デモンストレーション用の古竹・青竹(合計 1 トン程度)の調達。 ・当日運営人員

<b>—</b>	実施日時	平成 28 年 9 月 14 日(水)13:00~16:00(10:00~見学可)
実施概要	実施場所	明治大学黒川農場
要	参加者数	シンポジウム参加者:100名 当日スタッフ:約30名
実施状況(写真等)		10:00 竹炭製造開始  13:00 デモンストレーション開始  13:30 ○開会 ○基調講演「竹炭の農業利用」 明治大学特任教授 藤原 俊六郎 ○事例発表 ・川崎市の緑地保全施策と里山の再生に向けて 川崎市株区役所道路公園センター所長 鈴木 直仁 ・千葉県長生郡市における竹林整備活 動と大型炭化炉による竹炭づくり NPO 法人がもりの里 理事長 鹿嶋 與一 ・竹炭による土壌改良実験結果 NPO 法人 K-BETS 理事 篠崎 正利 ・家庭で竹炭を使った有機野菜栽培と花作り NPO 法人 K-BETS 理事 福島 巌・恵美子 16:00 ○閉会・竹炭配布  13:00 閉会・竹炭の配布
	催者や参加者の声 な意見、感想)	<ul> <li>・地域活性化部会員、地元の協力により、当日スタッフの確保ができ、スムーズに運営できた。</li> <li>・来場者名簿は 100 名だが、会場の大きさからに 150 名は入っていた。</li> <li>・竹炭製造のデモンストレーションや藤原先生の基調講演含め、プログラムは好評だった。</li> </ul>
等	画と今後の進め方 (専門部会での検 事項)	
₹0	D他	_

# 地-7 <地域農産物等の活用>菜の花プロジェクト

概	腰・目的	菜の花プロジェクトの概要 ・菜の花プロジェクトは、「農」「地域交流」「循環型資源」を念頭にモデル的な取り組みの1つとして、菜の花を栽培し、その油の利用と、廃油の資源化によるバイオマス資源の地域循環を目指している。 ・平成26年度から明治大学黒川農場の協力により圃場の一部(約2a)にナタネを播種、収穫、菜種油を製造手している。平成28年度も継続し、6月頃に種取り、10月に種蒔きを予定。 ・また、製造した菜種油を使用し、麻生区内の店舗と協働開発したクッキーを、明治大学黒川農場収穫祭で販売し、活動のPRを図る。  菜の花プロジェクトの目的 ・休耕地の活用や里山景観の魅力向上のため ・地元農産物の活用した加工品開発 ・里地里山を活用して循環の仕組みを考えていくため
実施体制、対象者等		主催:明治大学黒川農場、明治大学農学部食料環境政策学科本所研究室、 地元農業者、地元店舗、かえるプロジェクト(市民団体)等 協力:麻生区役所
	実施予定日	菜の花の栽培:通年 商品の販売 : 平成 28 年 11 月 12 日(土) 収穫祭時
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	収穫祭チラシ、市政だより、町内会回覧等
実施内容	内容	<ul> <li>① 地元店舗と協力し開発した商品(全粒粉クッキー)の販売による活動の PR</li> <li>② 明治大学との協働による菜の花プロジェクトのパンフレット・メッセージカードの作成</li> <li>③ 他の市民環境団体と連携した連続講座の実施9/30、10/14、10/28、11/11、11/25(すべて10~12時(金)、麻生市民館にて。要申し込み各回30名)</li> </ul>
	予算等	_
その他		

実	実施日時	H28年度内
施概要	実施場所	明治大学黒川農場ほか
要	参加者数	_
	実施状況(写真等)	9~11月 連続講座         9/30         地域資源循環プロジェクト:         10/14         自然エネルギーの普及啓発活動         10/28         生ごみの有効活用         11/11         里山保全活動を通した環境と文化の醸成         11/11         地域資源循環、せつけん利用推進。麻生区産菜種油でケーキ作り         11月12日         収穫祭 クッキー販売
	後者や参加者の声な意見、感想)	・平成28年度の収穫量は86kg、搾油量は25kg。 ・各地域の協力により、黒川農場・古沢・早野に加え、栗木・東百合丘・ 岡上・金程小に圃場を拡大。 ・ボランティアは現在約30名
	「と今後の進め方 (専門部会での検 「項)	
その	他	-

### 地-8 里山アート制作と展示 【サトヤマアートサンポ 2016】

概要・目的		概要 地区内の農と里山環境を活かした里山アート展示を試行的に実施・アーティストによる作品展示・里山アートをめぐるツアー  目的 【地場材の活用】黒川地域の竹等を活用した作品を制作する。 【地域の魅力向上】黒川地域の里山にアート作品を展示することで、黒川地域の景観や里山の魅力の PR につなげる。
実施体制、対象者等		主催: 和光大学 制作: 和光大学表現学部の学生、卒業生 協力: 地元農業者、明治大学、小田急電鉄 事務局: 麻生区役所
実施内容	実施予定日	・作品の展示: 平成 28 年 11 月 12 日(収穫祭)~ 2 0 日 ・ツアー実施: 平成 28 年 11 月 12 日、 1 1月 2 0日
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場の間
	周知・PR	・麻生区役所ホームページ内での告知 ・チラシの配布 等
	内容	① 和光大学表現学部の学生・卒業生の作品 ② 里山アートをめぐる散策ツアー
	予算等	製作費
その他		<課題> ・作品の保全・管理(簡単なシフトが必要) ・設置場所の土地所有者の承諾

	実施日時	平成 28 年 11 月 12 日 (土) ~11 月 20 日 (日)
実施概要	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場への誘導 <黒川駅〜セレサモス〜農業用倉庫〜広町緑地〜明治大学黒川農場>
	参加者数	アート鑑賞者:約1000名(参考:収穫祭来場者 1761名、パンフレット配布数等より推測)ツアー参加者8名
		●アート作品展示(合計 12 点、アートパフォーマンス 1 回)
	実施状況 (写真等)	●サトヤマアートサンポ 2016 ツアー (11/12、19)
主催者や参加者の声(主な意見、感想)		・農場の収穫祭までの道すがら、美術作品を見ながら歩ける企画としてとても気に入っています。 ・とても良い試みだと思います。黒川はいいところですね。 ・作品の解説版をもう少し詳しくして欲しい。 ・アートの取り組みは面白いと思うが、有名になると自動車の渋滞などが心配。
評価と今後の進め方 等(専門部会での検 討事項)		・ツアー参加者が少ないことが課題。事前申し込みは心理的負担となる ので、当日受付とすることを検討。
その他		_